2

森山さんは、物事を決めることに関心をもち、次の「だれが選ぶ　どれを選ぶ」という【文章】を読みました。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章】

□の内容は、あとの問いと関係があります。

だれが選ぶ　どれを選ぶ

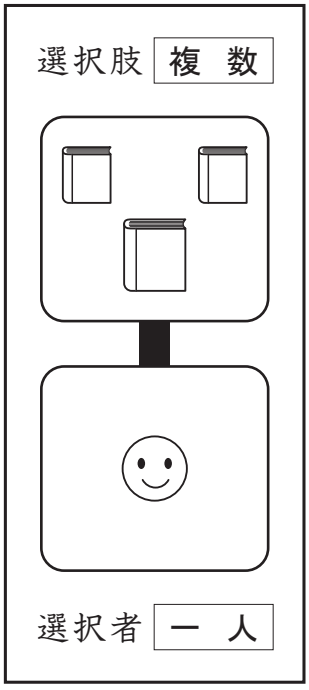
学校生活においては、学級の係や児童会の委員を決めるなど、みんなで物事を決めることがよくあります。物事を決めるということは、どういうことなのでしょう。

何かを決めるときには、「選択者（せんたくしゃ）」と「選択肢（せんたくし）」があります。「選択者」とは、選ぶ人のことをいいます。また、選ばれるものや人のことを、「選択肢」といいます。

それでは、「選択者」と「選択肢」の関係を、具体的な場面で考えてみましょう。学校では、学校図書館にあるたくさんの本の中から、目的に応じて本を選ぶことがあります。この場合、「選択者」は学校のみなさん、「選択肢」は学校図書館にあるたくさんの本です。

〈図１〉は、「選択者」が一人で、「選択肢」が複数の場合です。例えば、休み時間に一人で学校図書館に行って、一冊（さつ）の本を借りることにしたとします。「選択者」のあなたは、「選択肢」のたくさんの本の中から、好きな本を選ぶことができます。このような場面では、「選択者」はあなた一人なので、どの本を選ぼうかとなやむことはあっても、最後は、自分の判断で本を決めることができます。

〈図１〉



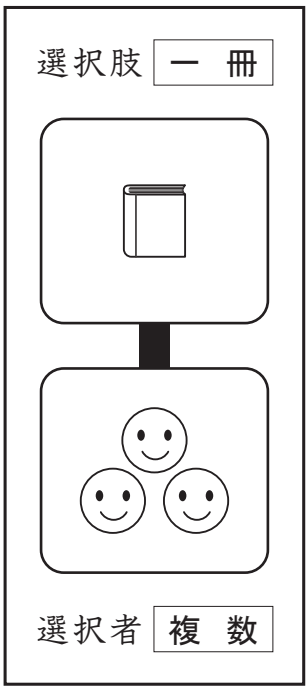
〈図２〉は、「選択者」が複数で、「選択肢」が一つの場合です。例えば、学校図書館のたくさんの本の中で人気のある一冊の本に何人かの人が集中するような場面です。このような場面では、だれがその本を借りることにするか、折り合いをつけて決めていくことが大切です。たがいにゆずり合って解決することを、「折り合い」といいます。

最後に、〈図３〉について考えてみましょう。〈図３〉は、「選択者」が複数で、「選択肢」も複数の場合です。例えば、学級全員で学校図書館に行き、感想文を書く本をそれぞれ一冊選ぶような場面です。このような場面では、「選択者」の一人一人が一冊ずつ本を借りることができますが、選びたい本の希望が重なることもあります。

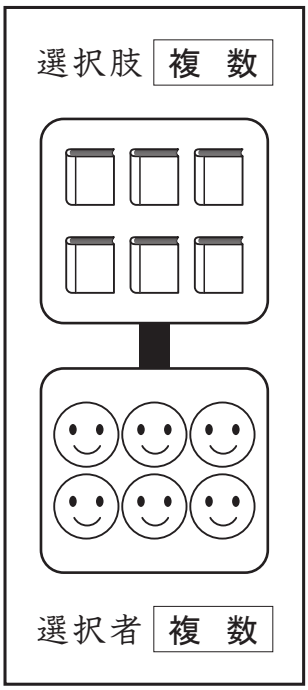
〈図３〉は、〈図１〉と〈図２〉とはちがう場面のように見えますが、実は〈図１〉と〈図２〉の両方がふくまれているといえます。〈図３〉の場合、まず〈図１〉のように、「選択者」は自分の判断で自由に一冊の本を選ぼうとします。その中で、複数の人が同じ本を選んだ場合には、〈図２〉のようにだれが借りるのかを決めることになります。

これら三つの図をもとに考えると、物事を決めるときには、まずはそれぞれの人が自分で判断することが大切です。そして、それぞれの人の希望が重なったり、意見や判断のちがいが生じたりした場合には、たがいのことを考えながら折り合いをつけていくことが大切です。

〈図２〉



〈図３〉



一　森山さんは、【文章】の中の難しい言葉とその意味について、次の【ノート①】にまとめています。

ア　・　イ　の中に入る内容を、【文章】の中から書きぬきましょう。

【ノート①】

〈難しい言葉〉　〈言葉の意味〉

◇選択者　…　選ぶ人のこと

◇選択肢　…　ア

◇イ　…　たがいにゆずり合って解決すること

二　森山さんは、【文章】の要旨（文章で取り上げている内容の中心や、書き手の考えの中心となる事がら。）を次の【ノート②】にまとめています。ウ　の中に入る内容を、【文章】の中の言葉を使い、六十字以上、百字以内で書きましょう。なお、書き出しの言葉は字数にふくみます。

【ノート②】

物事を決めるときには、「選択者（せんたくしゃ）」と「選択肢（せんたくし）」があります。このとき、「選択者」が一人で、「選択肢」が複数の場合や、「選択者」が複数で、「選択肢」が一つの場合などがあります。

物事を決めるときに大切なことは、

ウ

※左の原稿（げんこう）用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

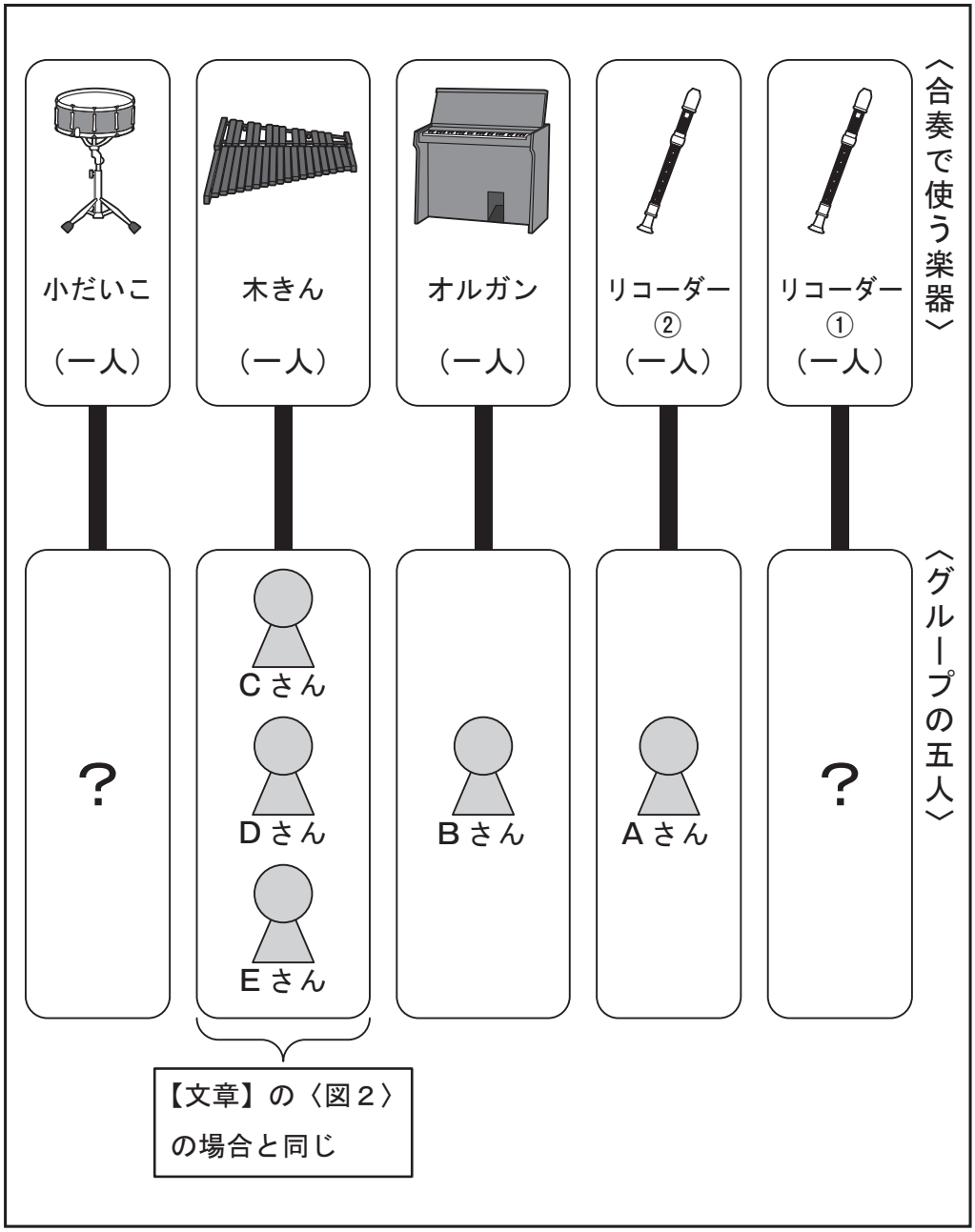
物事を決めるときに大切なことは、◆

100字　60字

三　森山さんの学級では、音楽の学習でグループごとに合奏をすることになりました。そこで、森山さんのグループの五人は、それぞれの希望をもとに、担当する楽器を決めることにしました。次の**【楽器の分担図】**は、**【文章】**の内容を参考に五人の希望を整理したものです。あとの（**問い**）に答えましょう。

【楽器の分担図】

楽器一つに対して一人が担当します。



（問い）　森山さんのグループでは、「希望者が一人の場合には、その人がその楽器に決まる」ということを確認（かくにん）しています。グループの五人は、楽器の分担をどのように決めていくことになりますか。【楽器の分担図】をもとにし、次の条件に合わせて説明しましょう。

〈条件〉

○「リコーダー①」「小だいこ」「木きん」という三つの言葉を使って書くこと。

○「木きん」の決め方については、【文章】の［　　］の中で説明している、決めるときに大切なことを取り上げて書くこと。

○　書き出しの言葉に続けて、八十字以上、百字以内で書くこと。なお、「しかし」から始まる書き出しの言葉は字数にふくむ。

※左の原稿（げんこう）用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

Aさんは希望どおりのリコーダー②に、Bさんも希望どおりのオルガンに決まります。

しかし、Cさんと Dさんと Eさんは、◆

100字　80字